

〈令和6年12月9日（月曜日）vol.416〉

~~~~~ トピックス ~~~~~

☆ 令和6年度農林水産関係補正予算の概要が公表されました

令和6年度農林水産関係補正予算の概要が公表されましたのでお知らせします。

今回の補正予算では、重点事項として、新基本計画推進集中対策、物価高騰等の影響緩和対策、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施、持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進など、5つの項目を柱に施策が講じられます。

全体概要や主な事業の概要資料（PR版）などはこちらに掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/241129.html>（プレスリリース）

☆ 有限会社もりかわ農場が全国優良経営体表彰の農林水産大臣賞を受賞されました

令和6年度全国優良経営体表彰の各賞の受賞者が決定され、経営改善部門で有限会社もりかわ農場（代表 森川 勝 氏）（長浜市）が農林水産大臣賞を受賞されましたのでお知らせします。女性が経営に参画し顕著な貢献をしている経営体であり、本部門において「女性活躍」として表彰されます。

有限会社もりかわ農場では、水稻、麦・大豆を中心とし、野菜・果樹・農産物加工などの複合経営に取り組んでおられます。

水稻は減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、有機JAS認証や全面積で滋賀県の環境こだわり農産物認証を取得するなど、食の安心・安全の確保や環境に配慮した農産物の生産に積極的に取り組んでおり、早生から晩生まで11品種を作付け、作期分散を図るほか、スマート農機の導入による省力化と併せ、農地集積と大区画化に取り組むことで、作業効率を向上させています。

また、代表の妻は就農当初から経営業務に従事し、資金計画や就業規則の整備等、幅広い業務に参画しています。地域の女性を積極的に雇用し男女別の更衣室やシャワー室を設置するなど、労働環境の改善にも注力されています。

全国優良経営体表彰の各賞の受賞者についての情報はこちらに掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/241115.html>（プレスリリース）

《 新着情報 》

◇ 農林水産物・食品の輸出額（令和6年10月分まで）が公表されました

令和6年の農林水産物・食品の輸出実績（10月分までの累計）が公表されましたのでお知らせします。主な品目の動向は以下のとおりです。

<主な品目の輸出額（10月分までの累計）>（カッコ内は対前年同期比）

農林水産物・食品 11,702億円（+0.4%）

うち日本酒 346億円（+2%）、牛肉 487億円（+6%）、

米 93億円（+24%）、野菜・果実等 529億円（+3%）、

緑茶 288億円（+25%）

詳しい輸出実績や輸出促進についての情報はこちらのウェブサイトからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_info/zisseki.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html)（輸出額実績）

◇ 10月の農作業死傷事故の発生状況が公表されています

令和6年10月の農作業死傷事故の発生状況が取りまとめられましたのでお知らせします。10月は18件の死亡事故を含む30件の死傷事故が報告されました。

死亡事故のうち半数の9件がコンバインなどの農業機械の転落・転倒事故によるものであり、機械の運転操作に当たっては、転落・転倒に細心の注意を払うとともに、走行路の整備など具体的な対策を講じていく必要があります。

このほか、穀物乾燥機からの墜落、整備中のコンバイン刈取部の落下や回転部の巻き込まれによるものと考えられる事故など、農業機械の点検や整備を行っている際の事故も多く発生しています。来シーズンに向けて機械整備を行う際には、改めて取扱説明書を確認し、正しい作業方法で整備を行ってください。

農作業死傷事故の発生状況等の情報はこちらに掲載されていますのでご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/jikojoho.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojoho.html)

#### ◇ 令和6年産米の契約・販売状況、民間在庫等の動向（令和6年10月末現在）が公表されました

農林水産省から、令和6年産米の契約・販売状況、米穀の民間在庫の推移及び米穀販売事業者の販売数量・販売価格の動向（令和6年10月末現在）が公表されましたのでお知らせします。

主な動向は以下のとおりです。

＜主な動向＞（カッコ内は前年同月比）

全国の集荷数量 159.6 万トン(91%)、契約数量 159.1 万トン (93%)、

販売数量 30.7 万トン(132%)、民間在庫数量 245 万トン(85%)

滋賀の集荷数量 2.47 万トン(75%)、契約数量 1.62 万トン(43%)、

販売数量 0.91 万トン(136%)、民間在庫数量 4.32 万トン(83%)

詳細についてはプレスリリースからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/241129.html>（プレスリリース）

#### ◇ 令和6年産米の検査結果（10月31日現在）が公表されています

令和6年産米穀の検査結果（10月31日現在）が公表されましたのでお知らせします。

水稻うるち玄米の1等比率は全国で77.1%、滋賀県では59.6%となっています。

銘柄別のデータなど、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/kome/>

#### ◇ 野菜の生育状況及び価格見通し（令和6年12月）が公表されました

大阪市中央卸売市場及び東京都中央卸売市場に出荷される野菜の価格見通し（令和6年12月）が近畿農政局及び農林水産省から公表されていますのでお知らせします。

大阪市場では、平年と比べて、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ねぎ（白）、きゅうり、ピーマン、たまねぎの高値傾向が見込まれています。

詳しい情報はこちらに掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>（大阪市中央卸売市場）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/241129.html>（東京都中央卸売市場）

#### ◇ 令和6年度オーガニックビレッジ全国集会の開催及び参加の募集について

農林水産省では、令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに、有機農業の取組面積を耕地面積の25%に当たる100万haまで広げる目標を掲げています。

この目標の実現に向けて、令和6年度までに、全国129市町村で有機農業の拡大に向けたオーガニックビレッジの取組が開始されました。さらなる拡大に向けて、オーガニックビレッジに取り組む市町村から取組状況をご報告いただくとともに、有機農産物の流通に取り組む事業者から取組をご報告いただく全国集会被開催されますのでお知らせします。

日時：令和7年1月16日（木）14時00分～17時00分

場所：Web開催（Zoom使用）

プログラム、傍聴申込要領等、詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/241204.html> (プレスリリース)

◇ 宮崎県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました

12月3日に宮崎県川南町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認(今シーズン国内12例目)されました。(肉用鶏約3.5万羽)農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認、防疫措置等に万全を期しています。

詳しい情報については以下のプレスリリースをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241203.html> (国内12例目)

◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

(12月5日)

令和6年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち海外サプライチェーン構築に向けた投資可能性調査緊急支援事業の公募について

(12月4日)

令和6年度持続的生産強化対策事業の第3次公募について

(12月3日)

令和6年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちコメ・コメ加工品規制対応緊急対策事業の公募について

令和6年度農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちコメ・コメ加工品輸出推進緊急対策事業の公募について

詳しくはこちらからご覧ください。なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載されています。

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html> (公募事業)

【その他の審議会・検討会等の開催情報】

・農林水産政策研究所シンポジウム(12月18日)

「EUと日本の環境保全型農業政策と持続可能な農業の実現-有機農業や生物多様性に配慮した農業の普及に向けて-」

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html> (会議等の開催情報)

《お知らせ》

○ 農林水産省 Web マガジン aff (あふ) 12月号の最新配信のご案内

aff (あふ) 2024年12月号の特集は、「ラーメン(国産小麦)」です。

第1回の配信では、『知るほど好きになる!ラーメン今昔物語』と題し、ラーメンは、どのように日本のライフスタイルに浸透していったのか。その歴史を年表で学びながら、新横浜ラーメン博物館の館長インタビューを実施しています。

手軽に購入可能な即席めん、生めんのオリジナルレシピも紹介します。

aff (あふ) の特集は、毎週水曜日の配信です。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

○ 統計公表情報

・作物統計調査 令和6年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量(11月26日)

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/#y5](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/#y5)

・作物統計調査 令和6年産麦類(子実用)の作付面積及び収穫量(11月26日)

《 日常的に活用できる情報 》

予算情報　みどりの食料システム戦略　食料・農業・農村基本計画  
補助事業　MAFF アプリ　経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金  
米政策・麦・大豆　野菜・果樹・花き　茶・薬用作物・こんにゃく  
収入保険　有機農業・環境保全型農業　農業生産工程管理（GAP）  
畜産　人・農地プランから地域計画へ　就農情報・農業分野の外国人受入  
スマート農業・農業技術・農業用ドローン　農林水産物・食品の輸出  
インボイス制度　メールマガジン・ソーシャルメディア　農林水産統計  
などのリンク先はこちらからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113\\_mailmagazine.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html)

---

《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などもお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更（アドレス等）、配信停止連絡はこちらへ  
e-mail : [kinki\\_mailmaga\\_shiga@maff.go.jp](mailto:kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp)
- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら  
[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index\\_2012.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html)

◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話：077-522-4261

メール：[https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline\\_shiga2812.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html)

所在地：〒520-0044 滋賀県大津市京町 3-1-1 大津びわ湖合同庁舎（6F）

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

---

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。